

## 第1回 大糸線（糸魚川・南小谷間）沿線地域公共交通検討会議

### 次 第

日時：令和8年4月28日（火）午後1時30分～

場所：第1部 ヒスイ王国館 万葉

第2部 ヒスイ王国館 明星

#### 1 開 会

#### 2 基調講演（第1部）

演 題：「地域鉄道の刷新に向けて

-人口減少時代のモビリティのあり方とは-

講演者：流通経済大学経済学部 板谷 和也 教授

#### 3 議 事（第2部）

（1）大糸線（糸魚川・南小谷間）の現状について

（2）沿線地域における取組状況について

（3）意見交換

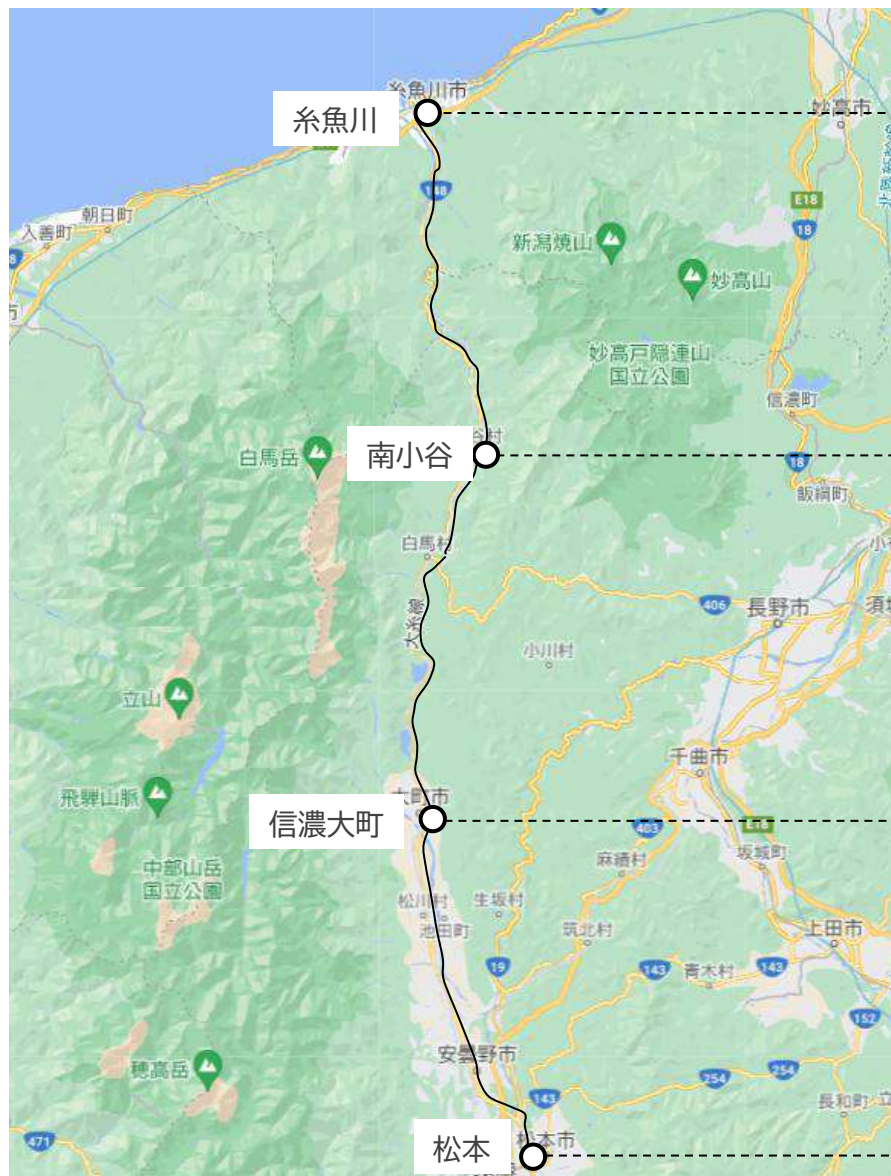
#### 4 閉 会

# 大糸線の現状について

1. 大糸線の概況
2. 沿線地域の状況
3. ご利用状況
4. 利用促進の取組状況

2026年4月28日

# 大糸線全線（松本～糸魚川）の概況



営業キロ	自治体	主な駅の乗車人員（2024年度）
営業キロ 35.3km	糸魚川市	糸魚川駅 580人/日 ※北陸新幹線含む
営業キロ 35.0km	小谷村 白馬村	南小谷駅 90人/日 白馬駅 301人/日
営業キロ 35.1km	大町市 松川村 池田町 安曇野市 松本市	信濃大町駅 1,174人/日 松本駅 16,103人/日 ※他路線含む

JR西日本  
非電化区間

JR東日本  
電化区間

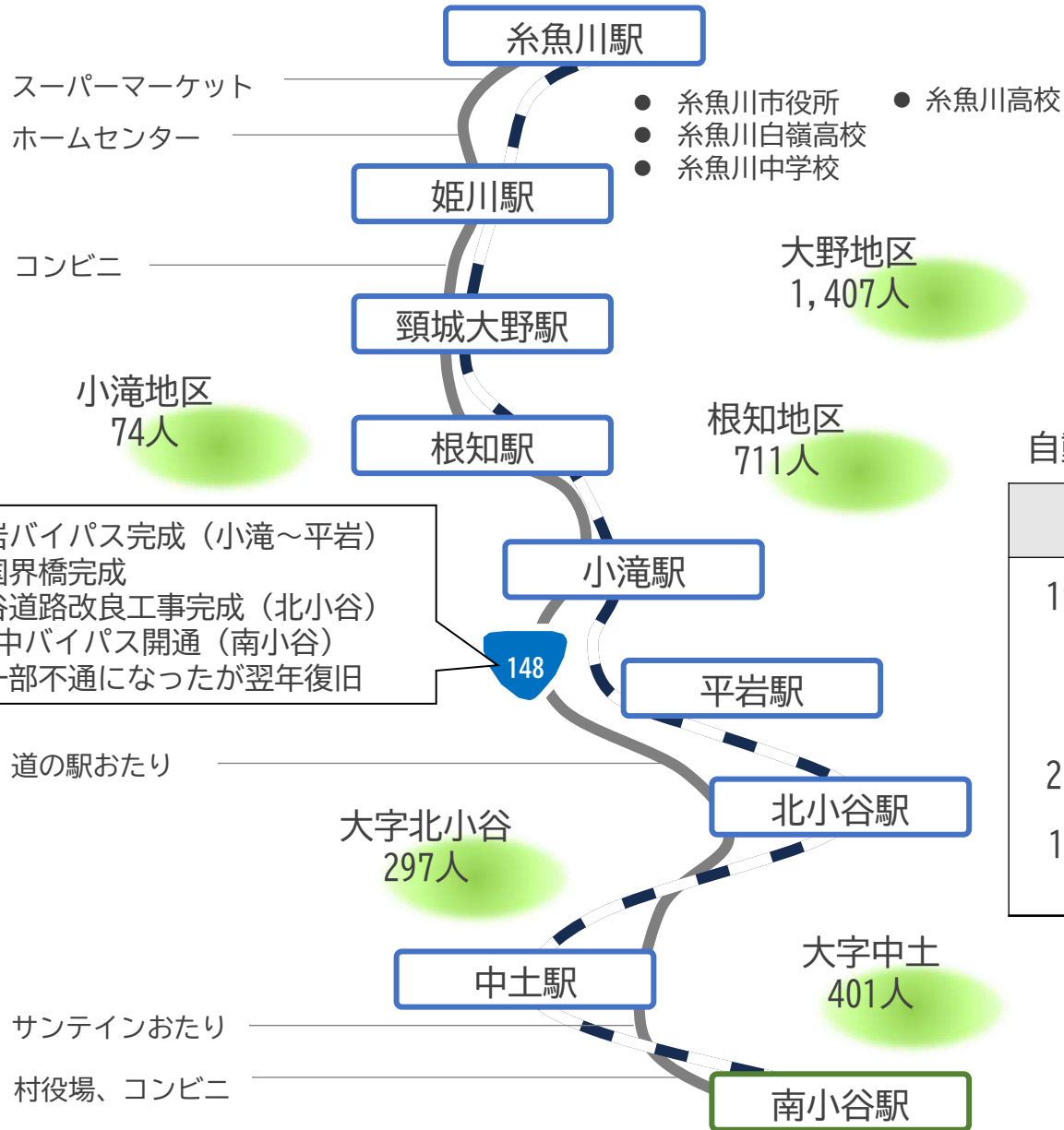
出典：Google Maps  
JR東日本 駅別乗車人員

# 大系線（南小谷～糸魚川）の概況

- 路線諸元：単線・非電化
- 運転方式：特殊自動閉そく方式
- 営業キロ：35.3Km
- 駅数：8駅 糸魚川市 6駅  
小谷村 2駅
- 駅設備：行き違い可能駅 根知駅  
折り返し可能駅 平岩駅
- 配置車両：キハ120形 3両
- 車両運用：2両運用・1予備
- 最高速度：南小谷－中土 65km/h  
中土－小滝 85km/h  
小滝－糸魚川 65km/h
- 所要時間：最速 約58分
- 運行本数：南小谷－糸魚川 14本  
平岩－糸魚川 4本
- 収支：運輸収入 22(百万円)  
営業費用 642(百万円)  
※2022～2024平均



病院、学校、買い物施設などは駅から離れた国道148号線に多く存在している



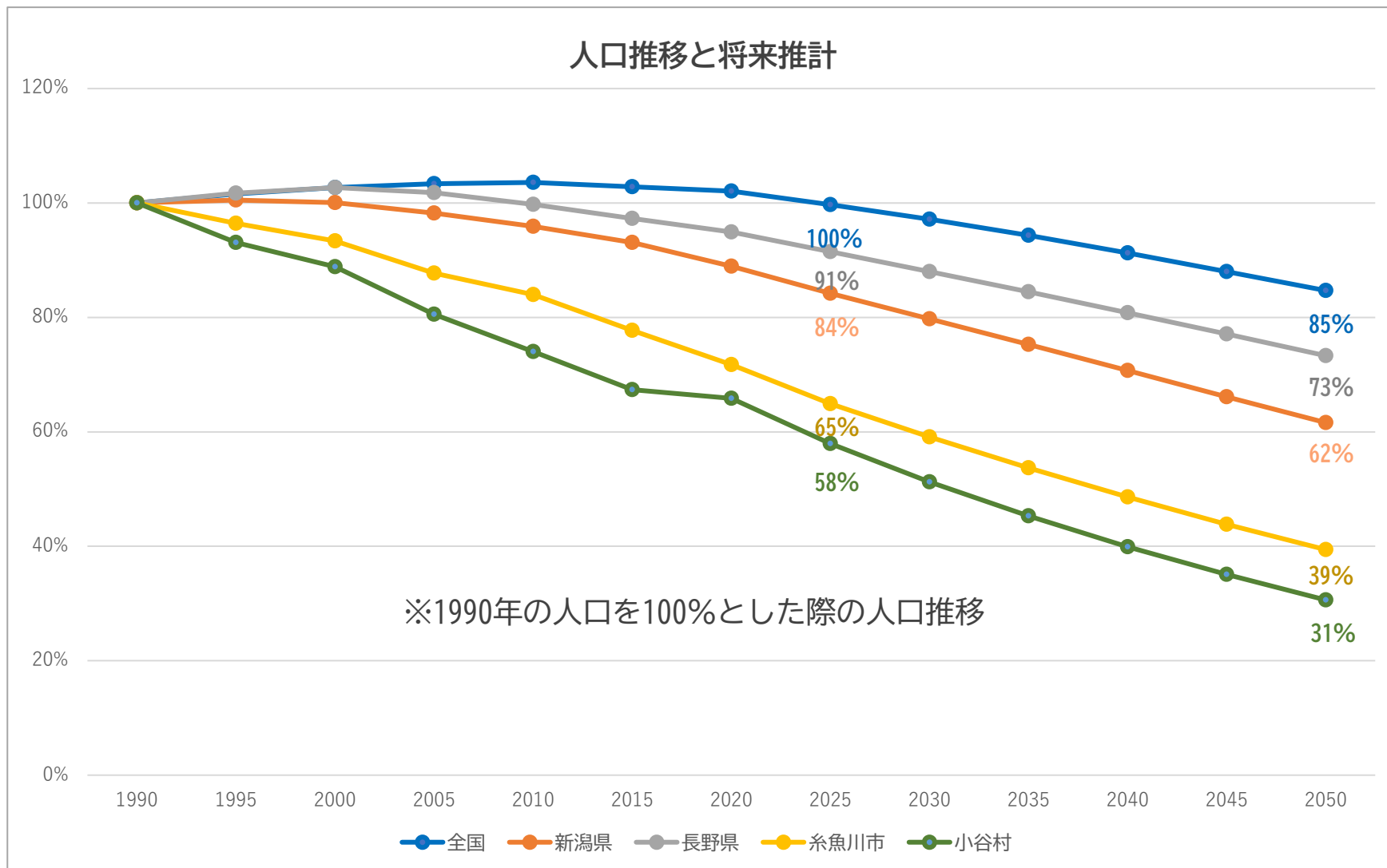
自動車保有台数の推移(乗用車)

新潟県	長野県
1987 (S62)	1987 (S62)
550,334台	612,382台
↓	↓
2024 (R6)	2024 (R6)
1,383,849台 <b>約2.5倍</b>	1,385,052台 <b>約2.3倍</b>

【出典】  
糸魚川市HP (R7年3月末)  
小谷村第6次総合計画 (R2年3月末)  
自検協HP (S62年3月末/R6年3月末)

- ・糸魚川市や小谷村の人口は1990年→2025年の35年間で35%～40%程度減少
- ・全国や新潟県長野県と比較して減少ペースが早く、1990年→2050年では60%～70%減少と推測されている

## 人口推移と将来推計

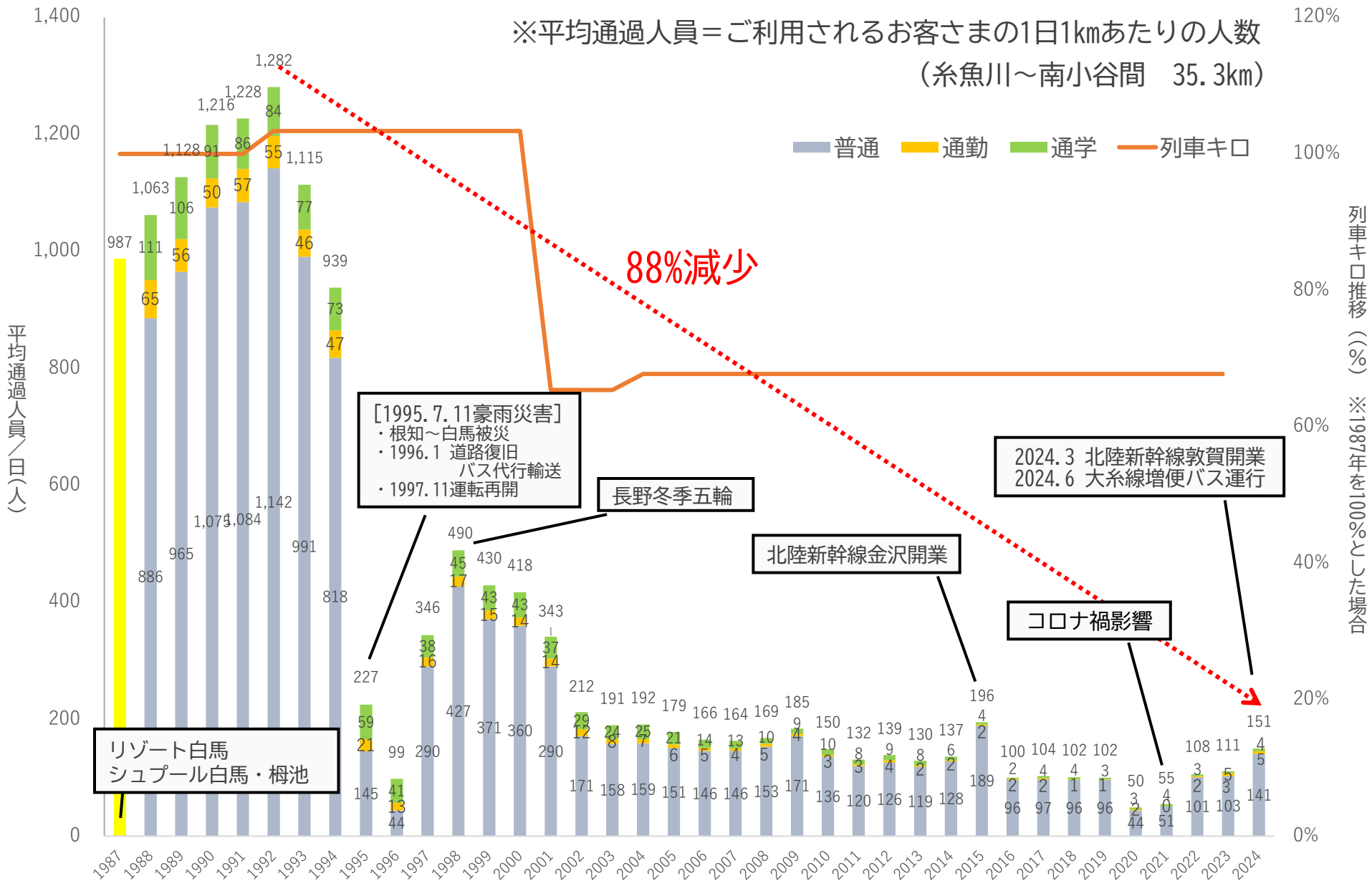


出典①：国勢調査・地理院地図 2020年度  
 出典②：国立社会保障・人口問題研究所 2023年度

# ご利用状況（平均通過人員※）の推移

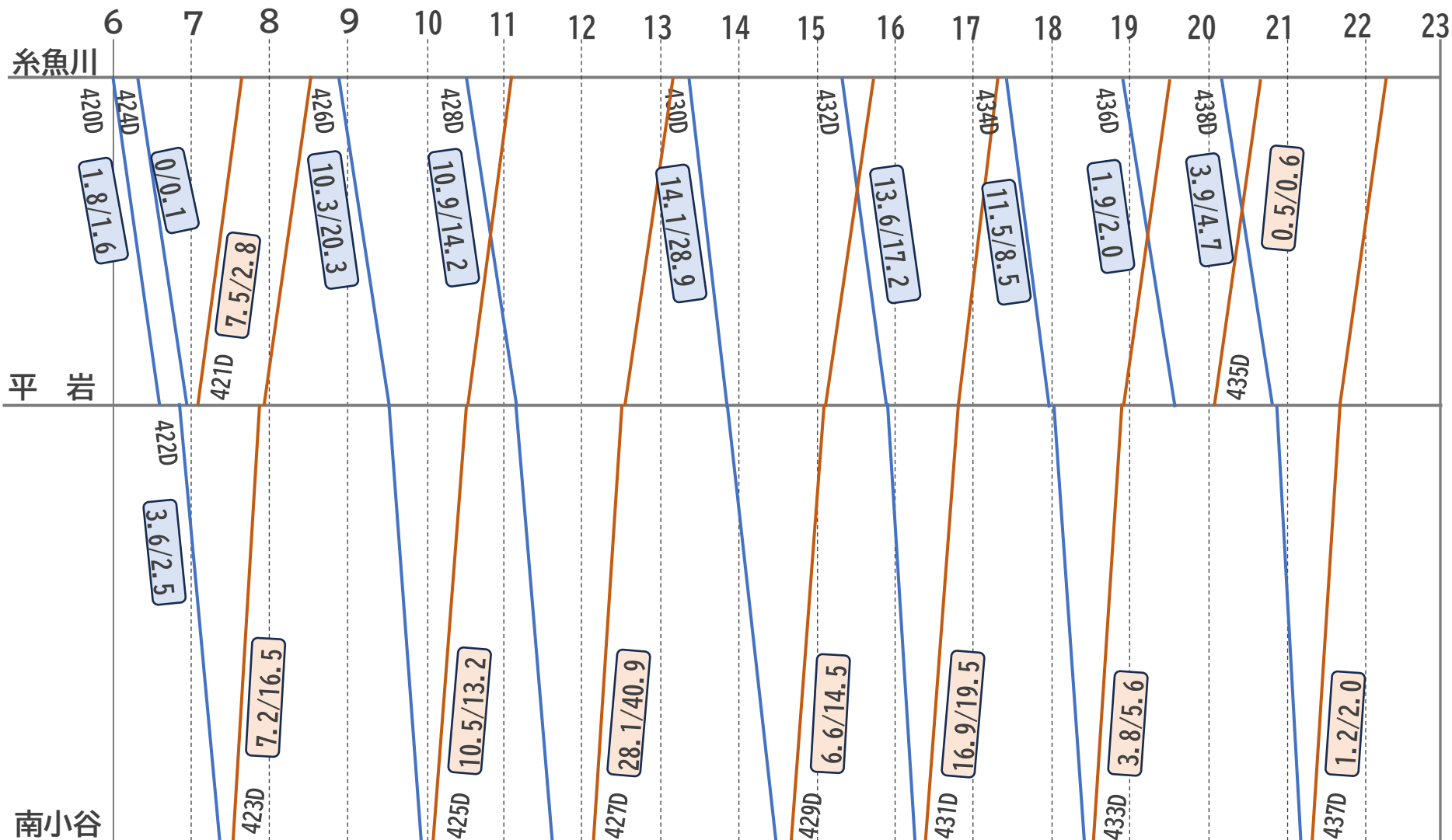
ピーク時と比較しご利用状況は88%減少をしており、大量輸送としての特性を発揮できていない

※平均通過人員＝ご利用されるお客さまの1日1kmあたりの人数  
（糸魚川～南小谷間 35.3km）



列車毎の利用者数は、乗り込み調査によると0人～約40人であった

- ・調査日：2025年4月～2026年3月までの平日24日、休日24日（計48日間）※運休日は除く
- ・調査方法：乗り込み調査
- ・列車別利用者数（人）：平日平均/休日平均



## 【概況】

### 1. 目的

北陸新幹線敦賀開業を契機にJR西日本が運行する大系線の列車本数を増便バスによって増加させることで利便性を向上させ、大系線沿線地域の活性化及び開業効果の最大化を図るとともに、利用者数の変化や潜在的需要を確認

### 2. 期間

- ①2024年6月1日（土）～2025年3月31日（月）
- ②2025年4月1日（火）～2026年3月31日（火）

### 3. 区間および運行本数

- 大系線（糸魚川～白馬）45.7km
- ①4往復/毎日
  - ②3往復/指定日

### 4. 利用調査

- ①月4回/計40回
- ②月4回/計48回

### 5. 実施主体

大系線活性化協議会

### 6. バス事業者

- ①白馬交通（株）3往復、糸魚川バス（株）1往復
- ②白馬交通（株）2往復、糸魚川バス（株）1往復

### 7. 実績（利用調査実績を基とした推計値）

- ① 23,317人〔平均 76.7人/日、9.6人/便〕（304日）
- ② 13,237人〔平均 54.7人/日、9.1人/便〕（242日）



一便あたり平均は9.1名程度であり、最もご利用が多い12月においても一便あたり平均は12.8人となった

■月別 JR大系線増便バスご利用実績 2025年4月 - 2026年3月 (人)

利用実績	利用者数	調査日数	一日平均	一便あたり平均	(参考) 一列車あたり平均
2025年4月	186	4	46.5	7.8	9.2
2025年5月	159	4	39.8	6.6	6.2
2025年6月	125	4	31.3	5.2	8.9
2025年7月	190	4	47.5	7.9	10.3
2025年8月	282	4	70.5	11.8	10.8
2025年9月	195	4	48.8	8.1	6.1
2025年10月	174	4	43.5	7.3	9.9
2025年11月	158	4	39.5	6.6	10.4
2025年12月	307	4	76.8	12.8	9.3
2026年1月	251	4	62.8	10.5	—
2026年2月	298	4	74.5	12.4	11.6
2026年3月	300	4	75.0	12.5	11.5

■累計 (推計値) 2025年4月 - 3月 (人)

利用者数	一日平均	一便あたり平均
13,237	54.7	9.1

■累計 (推計値) 2024年6月 - 3月 (人)

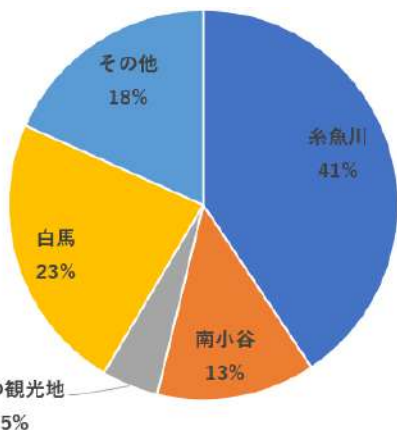
利用者数	一日平均	一便あたり平均
23,317	76.7	9.6

観光を目的とした、地域外のお客様による拠点間（糸魚川・南小谷・白馬）の移動が太宗を占めた

## ■乗車駅と降車駅（通常便：4月～11月 冬期便：12月～3月）

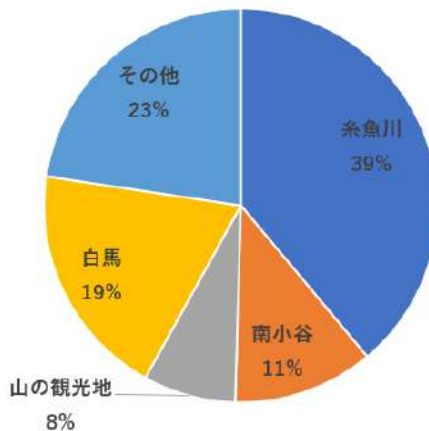
乗車駅（通常便）

n=1,299



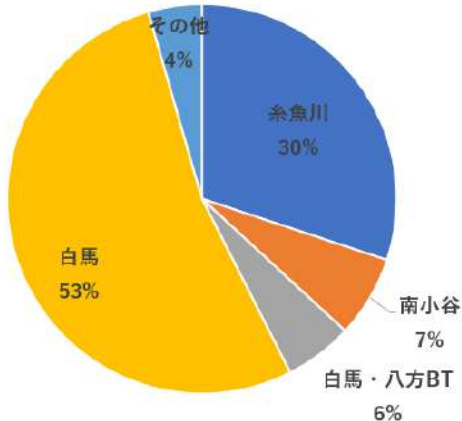
降車駅（通常便）

n=1,290



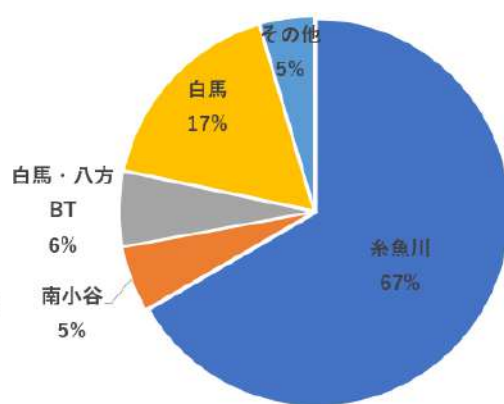
乗車駅（冬期便）

n=1,077



降車駅（冬期便）

n=1,076



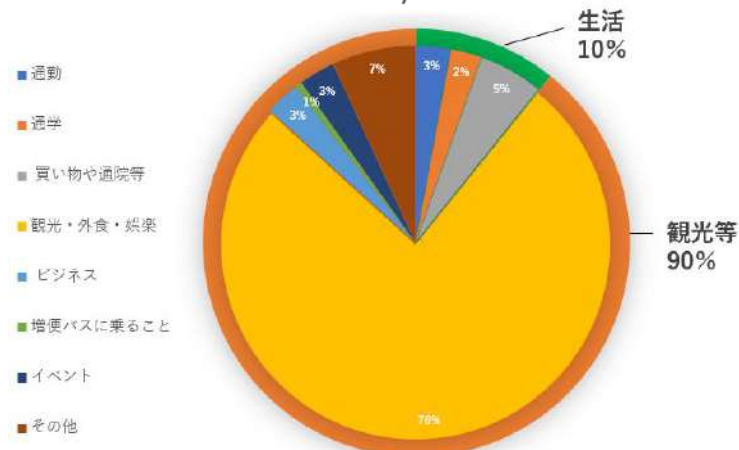
## ■ご利用属性

n=9,142



## ■ご利用目的

n=9,316



## 北陸新幹線金沢開業効果の最大化に向け活性化の取組みを重ね 2019年2月の活性化協議会設立以降、更なる取組を加速

### 大系線活性化協議会の取組み

～2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
<p>15.3 北陸新幹線金沢開業</p> <p>15.4 「駅プラン白馬山麓」販売開始</p> <p>16.5 サイクルトレイン開始 花いっぱい運動 大系線に手を振ろう運動①</p> <p>17.11 全線開業60周年記念式典 雪月花乗り入れ</p> <p>18.11 大阪駅での大系線沿線観光PR 沿線観光MAP制作</p>	<p>19.2 大系線活性化協議会設立</p> <p>19.3 金沢駅で大系線沿線観光PR</p> <p>19.5 「糸魚川塩の道起点祭」 お出迎えなど連携</p> <p>19.8 地域との意見交換会</p> <p>19.10 こども車掌体験列車</p> <p>19.10～12 新潟DC（増便バス運行） 沿線観光MAP制作</p> <p>19.11 糸魚川バル街トレイン運行 サイクルトレイン運行</p> <p>19.11～20.1 大系線フォトコンテスト</p> <p>19.11～20.2 大系線無料券配布（宿泊）</p> <p>19.11～20.3 イベント利用助成</p> <p>20.2 大阪駅での大系線沿線観光PR②</p> <p>20.8～10 乗車スタンプリナー</p> <p>20.8 トワイライトエクスプレス 再現車両公開③</p> <p>20.10 ハロウィン列車運行</p> <p>20.11～12 湯めぐり手形・MAP作成 雪月花乗り入れ運行</p> <p>20.12 大系線応援隊設立</p>	<p>①</p>	<p>②</p>	<p>③</p>



通年の取組み  
情報発信の取組み  
旅行商品造成

定期券補助、広報・HPなどで利用促進の情報発信、旅行商品造成支援（関西～白馬など）  
「西navi」への情報掲載、沿線パンフレット作成、「tabiwa by WESTER」など  
グリーンリゾートキャンペーン、スノーリゾートキャンペーン（新潟県・長野県連携）など

# 大系線活性化の主な取組み（2021年度～）

2024年度以降、北陸新幹線敦賀開業を契機とした本格的な利用促進・利便性向上を実施

## 大系線活性化協議会の取組み

敦賀開業を契機とした本格的な利用促進・利便性向上

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
21.9～11 サイクルトレイン運行 大系線 コラボラリー 21.10.3 幼児とくべつきつぷ 21.11 雪月花乗り入れ運行 21.11～12 湯めぐり手形	22.5 期成同盟会に振興部会を設立 22.8 全線開通65周年記念出発式④ ヘッドマークシール掲出(23.3) 大系線 コラボラリー・幼児切符 22.9～11 サイクルトレイン運行 22.10 こども車掌体験・ハロウィン列車 22.11 雪月花乗り入れ運行 22.11～12 湯めぐり手形	23.6 サイクルトレイン運行 23.7 こども車掌体験 23.9～11 大系線 コラボラリー・幼児切符 23.10 ハロウィン列車 23.11 雪月花乗り入れ運行 23.12～24.1 湯めぐり手形	24.3 北陸新幹線敦賀開業 24.2 大系線沿線イベント(福井駅)⑤ 24.6～25.3 増便バス運行 24.7 こども車掌体験 24.8 サイクルトレイン運行 24.10 ハロウィン列車 24.11 雪月花乗り入れ運行⑥ 24.12～24.1 湯めぐり手形	25.4～26.3 増便バス運行⑦ 25.8 こども車掌体験 25.9 大阪駅での出向宣伝 25.9～10 サイクルトレイン運行 25.10 ハロウィン列車 25.11 雪月花乗り入れ運行⑥ 25.12～26.1 湯めぐり手形



通年の取組み  
 情報発信の取組み  
 旅行商品造成

定期券補助、広報・HPなどで利用促進の情報発信、旅行商品造成支援（関西～白馬など）  
 「西navi」への情報掲載、沿線パンフレット作成、「tabiwa by WESTER」など  
 グリーンリゾートキャンペーン、スノーリゾートキャンペーン（新潟県・長野県連携）など

## 【増便運行および新幹線との接続強化】

- ・大糸線（糸魚川～白馬間）をバスにより接続しフリークエンシーおよび新幹線との接続を強化



## 【企画乗車券デジタルチケットの造成】

- ・大糸線（糸魚川～白馬間）を自由に乗降可能なデジタルフリーきっぷの発売



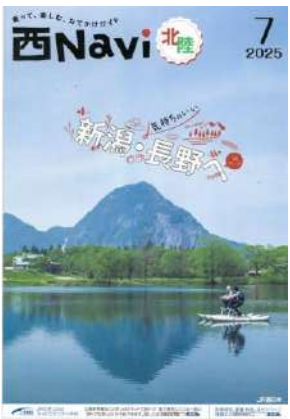
## 【旅行商品の造成（京阪神エリア）】

- ・関西圏を発着とした旅行商品『北陸新幹線 で行く信越リゾート』の造成



## 【プロモーション】

- ・ 広告媒体への掲載（西Navi、Hakuba Conect）
- ・ 京阪神における宣伝（セントラルビジョン、出向宣伝、車内吊り、列車内ビジョン、SNS発信）
- ・ 首都圏でのプロモーション（デジタルサイネージ、車内吊り）



[西navi 7月号表紙] [Hakuba Conect広告]

[大阪駅出向宣伝（アトリウム広場）]



[東京メトロ大手町駅 デジタルサイネージ]

[車内中吊広告]

[大阪駅セントラルビジョン]

**WEST**

もっとつながる。未来が動き出す。



# 大糸線沿線地域における取組などについて

令和8年4月28日

# 沿線自治体の取組状況

○平成31年以降、各団体において大糸線の利用促進のため取り組まれている

## 観光・イベント ※[R7実施時期、参加(利用)人数]

- ✓【大町】四季のハイキング企画[4~11月、95名]／謎解きイベント[7~11月、1,524名]
- ✓【白馬】JR白馬駅前ストリートフェス[8月、2,500名]
- ✓【糸魚川】鉄道の日記念イベント・JR大阪駅イベント[8月・10月、5,100名]
- ✓【小谷】駅メモ コラボイベント[9月] 他

## 鉄道利用型企画

- ✓【小谷】夏の柵池自然園お得旅きっぷ[7~9月、10名]／利用促進ツアー[11月、30名]
- ✓【糸魚川】企画列車（子供車掌体験・サイクルトレイン・雪月花乗入）[8~11月、73名] 他

## 利用支援・環境整備

- ✓【糸魚川】イベント・定期券助成[通年、1,259名]／輪行バッグ貸出[通年]
- ✓【小谷】大糸線利用者 食事代補助[6~3月、146名]／教育活動での鉄道利用補助[6~3月、28名]  
／中土駅 シェアサイクルステーション[通年] 他

## おもてなし・情報発信

- ✓【大町】リゾートビューふるさとおもてなし事業[通年、4,567名]／大糸線特設サイト[通年]
- ✓【白馬】駅利用者歓迎おもてなし企画[7月、120名]
- ✓【小谷】SNS発信『未来へつなごう大糸線！』[通年]
- ✓【糸魚川】SNS情報発信[通年] 他

# 各沿線の取組

---

## 1 これまでの市独自の取組状況

大糸線活性化協議会事務局として、利用促進の取組を企画・推進

### (1) イベント助成（大糸線利用促進事業助成金）

【事業概要】 大糸線（糸魚川駅～南小谷駅）区間の利用を条件としたイベント等の事業費に対して9/10助成するもの。

【実施状況】 R5年度：助成43件 参加者数891人（糸24、小12、白5、大2）  
R6年度：助成53件 参加者数978人（糸28、小11、白5、大9）  
R7年度：助成70件 参加者数1,237人（糸32、小30、白1、大7）

【活用事例】 野歩路山の会「白馬岳から白馬三山を縦走する憧れのロングコース」車の予定から大糸線へ変更し、糸魚川駅～白馬駅間を9名往復利用

【取組による効果】 年々助成件数が増加し、大糸線の利用促進につながっているもの。次回事業を計画の際、大糸線を交通手段として考えるきっかけとなり、マイレール意識の醸成へ。



大糸線子ども車掌体験

### (2) 定期助成（大糸線利用促進助成金）

【事業概要】 大糸線（糸魚川駅～南小谷駅）区間を含む通勤・通学定期券購入費に対して5/10助成するもの。

【実施状況】 R5年度：助成26件（通学9件、一般（通勤）17件）  
R6年度：助成34件（通学22件、一般（通勤）12件）  
R7年度：助成22件（通学15件、一般（通勤）7件）



雪月花大糸線乗り入れ

【取組による効果】 生活利用について、沿線人口の減少と少子高齢化の影響を受けていると思われる。

## 1 これまでの村独自の取組状況

### (1) 駅メモ コラボイベント

#### 【事業概要】

①スマートフォン向けゲーム「ステーションメモリーズ！」において、JR西日本、糸魚川市と連携し、『「JR西日本・小谷村・糸魚川市」×「駅メモ！」シリーズコラボキャンペーン～れんげと巡る～美しき姫川溪谷と大糸線の旅～』を令和6年8月から3か月間実施。

②上記キャンペーンで作成した等身大パネルを活用し、令和7年9月から「大糸線に乗ろうキャンペーン」を実施。車内等から等身大パネルを撮影することでミッション達成グッズ配布となるイベントを実施した。

【実施状況】開催期間中、観光客や若年層の来訪が増加。ノベルティ配布の早期終了及び、グッズ販売も好調となり、村内の観光スポットや特産品の認知度向上に寄与した。

### (2) 中土駅 シェアサイクルステーション

【事業概要】中土駅を拠点として、観光客向けにスマホ決済によるデジタルシェアサイクルサービスを提供。中土駅にて下車しシェアサイクルで地域の自然や観光スポットを気軽に楽しめる環境を整備し、スタンプラリーも開催した。

【実施状況】駅周辺の観光スポット(雨飾山・小谷温泉方面)や飲食店へのアクセス向上を実現。地域の回遊性が向上し、地元経済の活性化にも貢献。



## 1 これまでの村独自の取組状況

### (3) 「大糸線使って食べに行こうよ!」キャンペーン

#### 【事業概要】

大糸線を利用して食事をした方を対象に、食事代の75%の地域商品券を交付するキャンペーン。

大糸線活性化協議会の利用促進事業助成金を活用した方で飲食を行った方を対象に、移動費やイベント経費等の支援を行い、大糸線の利用促進を図る取組。

#### 【実施状況】

実施期間中、利用者から好評を得ており、大糸線を利用して忘年会やママ友会等での外出及び飲食を行う動機づけとして効果が見られた。また、利用者数も年々増加が確認される(R6年は6組、R7年度は16組)など、大糸線の活性化や地域経済の振興にも寄与している。

## 2 取組による効果

各取組の実施により、大糸線の利用促進に加え、沿線地域への誘客、村内の周遊促進及び地域内消費の喚起が図られた。ゲームコンテンツを活用した情報発信、二次交通の確保、飲食利用支援を組み合わせることで、来訪の動機づけから現地での移動、消費行動まで一体的な促進につながった。利用者の反応も良好であり、大糸線活性化に向けた一定の成果があったものと認識している。



**大糸線使って食べに行こうよ! キャンペーン**

キャンペーン期間▶ 令和7年6月6日(金) ~ 令和8年3月31日(火)

期間中、大糸線を利用して食事に行くと、小谷村地域商品券がもらえるキャンペーンを開催します!

商品券もらうには

1. 大糸線活性化協議会が実施する利用促進事業助成金に応募する  
(大糸線を含む移動費・施設使用料・イベント費など9割を助成)  
小谷村役場観光工務にお問い合わせください!
2. 助成金事業終了後、食事の領収書を観光工務に提出
3. 後日、小谷村地域商品券を発送

- ・1名あたりの助成率は75%で、助成額は上限3,000円です。(1,000円未満は切捨て)
- ・例) 4名で食事した場合  
飲食代20,000円×4名=5,000円×75%=3,750円→1名あたり3,000円の助成  
3,000円×4名分(12,000円)の小谷村地域商品券を支給します。
- ・助成金の交付は現金ではなく、**地域商品券**となります。
- ・申請時に飲食代がわかるレシートや領収書などをお持ちください。
- ・本業に優先し、終了となります。

お問い合わせ  
小谷村大糸線振興協議会(旧・環境地産工務)  
電話: 0261-82-2585 メール: kanko@vil.star.lg.jp



【中土駅開業90周年イベント】

## 1 これまでの市独自（大糸線利用促進輸送強化期成同盟会）の取組状況

### (1) 大糸線プロモーション事業 特設サイト

#### 【事業概要】

ホームページを作成し、大糸線・沿線地域の魅力情報の発信（R6.7.17～）

#### 【実施状況】

特設サイト「いとしの大糸線」ホームページの運営、沿線自治体の紹介など



### (2) 大糸線プロモーション事業 謎解きイベント

#### 【事業概要】

大糸線全線を舞台とした謎解きイベント

#### 【実施状況】

令和6年度 「9つの物語」

令和7年度 「宝石の魔女ガーネットと3つの物語」



## 2 取組による効果

- ・令和6年7月から特設サイト「いとしの大糸線」を開設。開設からの訪問者数 89,195人（R8.3.31現在）
- ・大糸線に乗って行う謎解きイベントにより、大糸線全線への集客を図る。参加者累計 2,499人（R8.3.31現在）
- ・大糸線プロモーション事業によって、大糸線と沿線地域を知っていただき集客につなげた。

## 1 これまでの村独自の取組状況

### (1) JR白馬駅前（はくば通り）ストリートフェス

#### 【事業概要】

村内の主要幹線の一つである、白馬駅前交差点から八方入口交差点までの県道白馬岳線・道路愛称「はくば通り」の無電柱化と、駅前活性化を目的とした「はくばストリートフェス」は、昨年（2024年）で第3回目を数え、地元関係者や観光大使、住民、来訪者が集い触れ合う新たな恒例イベントとして定着しつつある。

#### 【実施状況】

- ・第3回 2025年8月30日（土）来場者数：約2,500人
- ・第2回 2024年8月31日（土）台風により中止
- ・第1回 2023年9月 2日（土）来場者数：約2,000人



「DJ駅長」こと古畑白馬駅長のDJパフォーマンスは毎年人気の催しの一つ

### (2) JR白馬駅 利用者歓迎おもてなし企画

#### 【事業概要】

グリーンシーズン中の特定日や記念列車運行時等において、特急あずさ号やリゾートビューふるさと号を利用して白馬駅で下車したお客様に対し、白馬高校生等による歓迎セレモニーや公式キャラクターでのお出迎えをはじめ、紫米おこわ、温泉まんじゅう等の特産品や麦茶等による振る舞いを実施。

#### 【実施状況】

- ・JR白馬駅構内及び改札口における振る舞い（実施の場合は毎年7月下旬頃）



## 2 取組による効果

- ・来訪者への効果としては、旅ナカにおけるの第一印象が向上し感情的価値が向上したものと見られる。また、特産品の認知度向上と購買行動への転換による飲食店・土産店等地元事業者への波及効果が促進された。